

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ2	出席委員数	6名
日時	平成23年10月31日(月) 19時00分～21時00分		
場所	北方町役場3階 第2会議室		
<p>【協議事項】 (テーマ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体会の日程の確認 ・今回の資料の説明、全体会での発表について <p>1. 公共バスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人が増えた芝原で、以前は穂積線などアピタへの直通バスがあったが、今は国道303号線まで出るか、バスターミナルで乗り換える路線しかない。 ・町内巡回のコミュニティバスがあるといいのではないか。 ・本巢市の無料コミバスは多額の赤字で縮小傾向である。その存続についても検討されているほどなので、それでも北方で走らせるべきか。 ・以前、本巢市から、岐阜行きの実便性のためにコミバスを北方のバスターミナルへ入れさせてほしいとの申し入れがあった。そこで、モレラ行き路線を北方町民にも利用させてほしいと申し入れた結果、それぞれ受け入れ、実現した。 ・点から点で走らせるバスやタクシーはどうか。 ・近所で声をかけ合って多数で乗り合える地域性がないとダメなのでは。 ・バスターミナルを作ったのはなぜか。 ・北方まつりで、バスターミナルのところで、それまでの神輿のコースの妨げになった。迂回して担ぎ手が大変だった。 ・今までは、バスのコースがわかりにくかった。北方に来るバスでも、路線によって経由するバス停が違い、わかりにくかった。 ・今は、北方行きはすべてターミナルを経由するので、拠点として目印にできる。 ・岐阜行きは、それぞれ路線は違うがターミナルから10分おきに出ている。 ・町としては、岐阜バスへは今のよう補助を出してでも、路線を維持していきたい。 ・市民病院へは行きやすいが、岐大病院へのバスもあるとありがたい。車だとすぐなのに、バスだと乗り継いで時間と料金がかかる。 ・高屋地域内はバスが少なくて高校生は困った。馬場から100円の穂積バスを利用したこともある。 ・車があるから、駅近くのパーキングを利用してでもそのほうが便利。 ・実便性がある穂積駅へ出たいのに、穂積へは1日1本しかない。 ・穂積線に限ったことではないが、本数が少ないから、余計に利用しなくなるのではないか。 			

- ・結局利用がないと走らせることができない。
- ・高屋地域はピアゴやカネスエがあって便利かもしれない。
- ・芝原からアピタへ行けない状況なら、芝原へ宅配サービスに来てもらってはどうか。
- ・女性としては、宅配で買うのではなくて、出て行って見て歩いて買い物を楽しみたい。
- ・芝原からはアピタよりも手前にある今のターミナルを、アピタ内に作ればいいのか。
- ・モレラは駐車場内、玄関前までバスが入っていく。
- ・閉鎖されているアピタの屋上駐車場を再開して、地上駐車場にターミナルを作らせてもらってはどうか。
- ・バスの最終は何時か。
- ・夜10時台までである。意外と遅くまである。
- ・時刻表を確認したり探したりするのが手間。
- ・自分もいつまで車に乗れるかが不安。車を諦めるときが来た時、どうなっているか。穂積に行けないのは困るかも。

2. 交差点について

- ・カネスエの南東、旧県道と岐阜信用金庫の信号から来る道が交わるところに、信号がほしい。交通量がすごく危険。
- ・でも、あったらあったで流れが悪くなるのではないか。
- ・以前から要望はあるけど信号が付かないのには理由があるらしい。
- ・カネスエとフランポワーズの前で渋滞が起き、近所としては迷惑。救急車が来た事故もあった。
- ・本巢市でそうだったように、死亡事故でも起きないとダメなのではないか。
- ・岐阜信用金庫の前の交差点も右折車が危険。
- ・ただ、そこに右折車線を作ると、直進が渋滞を起こすので無理かもしれない。
- ・意外と上手に間をぬって右折していくのではないか。
- ・ローソンとセリアの間や、王将の前などは、朝、自転車も車も多くて危険。

3. 子どもの医療費無料化（辻さん作成のアンケート）について

- ・保護者の現状意識を知りたくて作成したアンケートについて、町長さんから意見をいただき、親たちの間で、無料化への難しさを話し合った。
- ・将来の市町村合併を考えると、町に少しでも貯えがあったほうがいいのかなどの意見も。
- ・「無料化延長」という言葉など、無料化が前提に書かれているので、内容を公平な立場に立ったものにしたほうがいいのか。
- ・無料化が必要かどうかを回答するものとして捉えられない内容、選択肢な

のではないか。

- ・無料にしなくてもよいという意見が反映される内容にすべきではないか。
- ・対象となる子どもの親にだけでなく広く意見を聞いてほしい。
- ・「審議会委員」の名で実施するならば、幅広い層が集まっているこのグループで内容をよく検討してはどうか。
- ・私が子育てしていた当時は、医療費を苦しめたことがないし、問題視したことはなかった。自分が世間知らずなのか、意識不足なのか、今のお母さんたちの盛り上がりすごいと思った。
- ・小学生の医療費にほんとに切実に悩んでいるのか。家計を圧迫するほどのものなのか。
- ・私の経験では、幼児の頃は医者へ行ったけれど、小学生になってからは丈夫になって、医者が必要だった覚えがない。
- ・北方町だけという不公平感が助長しているのではないか。
- ・子宮頸がんやインフルエンザなど、予防接種の補助も市町村の施策で、まちまちである。
- ・当事者として比較するからではないか。
- ・アンケートは「無料化」を言わず、医療費に対してどう思うか、どうしてほしいかを聞ける内容になるように。

・次回開催日について

11月21日（月）午後7時から